

一般財団法人共立国際交流奨学財団 2020 年度奨学生の募集

2019. 12. 18

1 応募資格・・・以下のすべてに該当すること

- 1) アジア諸国からの私費外国人留学生
※ 該当国は同財団HPで確認のこと。 <http://www.kif-org.com/scholarship/>
- 2) 2020 年 4 月現在で工学部・工学研究科に在籍する留学生で、2020 年 4 月現在で同一課程での在籍残期間が 2 年以上の者
- 3) 採用が決まった場合、2020 年 4 月 1 日（水）に開催される奨学金授与式に参加できる者
- 4) 2020 年 1 月 31 日までに入学手続きが終了する者又は本学に在籍している者
※ 入学手続きが終了していない場合でも、合格が確定していれば申請は可能です。
- 5) 受給期間中、他の奨学金を受給する予定のない者

2 支給金額及び支給期間

大学院： 毎月 10 万円(2 年間)

学部： 毎月 10 万円(2 年間)または毎月6万円(1 年間) ※奨学金種別は財団で指定

3 提出書類

- 1) 申請書(所定用紙3枚・写真貼付・教員の推薦書含む・推薦書以外日本語自筆)
※ 記入上の注意をよく確認して作成すること。
- 2) 在学証明書(原本)または入学許可書の写し
- 3) 成績証明書(学部以降、直近のものまで)
※ 別添の成績評価係数算出方法を参照の上、算出した成績評価係数を余白に鉛筆書きすること。
- 4) 在留カードの写し(両面)
- 5) 経済状況調書(所定用紙、2019 年 12 月 1 日現在で作成)
- 6) 私費外国人留学生身上調書(所定用紙)
- 7) 家計状況申告書(所定用紙)
※ 6)および7)については、2019 年 10 月以降に提出済の場合不要。
- 8) 健康診断書(2019. 4 以降受診のもの、写し可)
※ 学内で受けた場合、必ず「健康診断証明書」を提出すること、システムで発行の「結果報告書」は不可、検査項目に胸部 X 線(レントゲン)が含まれるもの。
※ 工学部・工学研究科から推薦が決まった者のみ、後日提出。

4 推薦人数 工学部・工学研究科からそれぞれ1名

5 申請書の提出先 工学部・工学研究科教務課国際交流係(中央棟3F)

6 締切日 2020 年1月 10 日(金)

既に 2020 年度に他の奨学金の受給が決定している者および申請中(直接応募含む)の者は選考対象外とします。

2020年度奨学金応募要項

一般財団法人 共立国際交流奨学財団

奨学金の種類と対象・募集数（2020年4月から支給）

奨学金種別	一般財団法人 共立国際交流奨学財団奨学金 毎月10万円・2年間支給	(株) 共立メンテナンス奨学基金奨学金 毎月6万円・1年間支給
募集人数	15名	35名
応募数	大学・短大・専門学校 1名 日本語学校 —	1名（※奨学金種別は当財団で決定） 1名

応募資格

- (1) 日本以外の**アジア**国籍を持つ**私費留学生**（該当国は当財団ホームページ参照）
- (2) ①大学院は**2020年4月からの在籍残期間が同一課程で最低2年以上の者**（研究生留学生別科は対象外）
（例：2020年4月より修士2年生+2021年4月より博士1年生 合計2年というものは不可）
②大学・短期大学、専門学校は、**2020年4月からの在籍残期間が最低2年以上の者**
（※②に関しては該当者がいない場合は在籍残期間が最低1年以上の者でも可）
③日本語学校は**2020年4月からの在籍残期間が最低1年以上の者**
- (3) 人物、学問ともに優秀であり、志操堅実かつ健康である者
- (4) ①一般財団法人 共立国際交流奨学財団奨学金に採用された場合、当財団主催の研修会（年1回、日本国内2泊3日）に必ず参加できる者
②(株) 共立メンテナンス奨学基金奨学金に採用された場合、年2回現況報告書と作文（1回800字以内）を当財団が指定する期日迄に必ず提出できる者
- (5) 一般財団法人 共立国際交流奨学財団奨学金は併給不可
(株) 共立メンテナンス奨学基金奨学金は他奨学金が月額5万円以下なら可
- (6) 2020年4月1日（水）の奨学金授与式に参加できる者
- (7) 募集締切日（2020年1月31日）に入学手続きが終了している者又は在籍している者
- (8) 2020年4月1日時点で、留学ビザを取得し日本に滞在している者

応募手続

以下の(1)～(6)の書類を当財団に提出する

<所定の書類（本紙に同封のもの）>

- (1) 「2020年度奨学生申請書①～③」（推薦書を含む）
- (2) 「2020年度奨学生被推薦者申請一覧表」（各学校に1部・学校担当者が記入）

<申請者が用意する書類>

- (3) 在学生：在学証明書（原本）又は 入学許可者：入学許可証（コピー可）※合格通知書不可
- (4) 成績証明書（原本 現課程のもの、入手不可能な場合には前課程（日本語学校除く）のもの）
- (5) 健康診断書（コピー可）

※2019年4月以降に診断したもので、検査項目に＜胸部X線（レントゲン）＞が含まれているもの。

- (6) 在留カード又は外国人登録証明書の両面コピー（海外居住者については授与式までに準備すること）

※ 応募書類に不備があった場合は選考対象としない。また、応募書類は返却しない

※ 推薦する学生がいない場合の連絡は不要

応募締切

2020年1月31日（金） 当日消印有効

選考及び選考通知

- ・推薦された学生を当財団選考委員会において書類選考のうえ決定する
- ・採用の有無については、2020年3月中旬に学校担当者に書面にて通知する
- ・本人への通知は学校担当者に一任する
- ・選考内容・結果についての理由等は、公表しない

問い合わせ・書類送付先 ※電話での問い合わせ不可※



一般財団法人 共立国際交流奨学財団 奨学金担当
〒101-0021 東京都千代田区外神田 2-18-3 第2昭和ビル 4F
E-mail: kif-info@dormy.co.jp

2020 年度 奨学生申請書①～③記入上の注意

一般財団法人 共立国際交流奨学財団

全般的事項	(1) 原則として日本語(楷書)で記入すること。 (2) アルファベット使用の場合は、活字体で記入すること。 (3) 数字は算用数字を用いること。 (4) 該当する欄はすべて記入すること。 (5) 記入は万年筆またはボールペンで書くこと。 (6) 推薦書(2枚目枠内)以外は、応募者本人が手書きで記入すること。 (7) 名前、フリガナは、全ページ統一して記入すること。 2020年4月以降の在籍(予定)学校が発行する証明書記載通りに記入すること。
在籍校	(1) 2020年4月1日時点の在籍(予定)校及び学年数を記入すること。 2020年4月1日時点の在籍(予定)校以外の記載がある場合は、審査の対象としない。 (2) 「名称」欄は、専門学校生及び短期大学生は学校名と学科を記入する。 大学生及び大学院生は大学名を記入し、大学生の場合は学部名・学科名を、大学院生の場合は研究科名・専攻を記入する。 日本語学校は、学校名とコース名などの所属先を記入する。 2020年4月以降の在籍(予定)学校が発行する証明書記載通りに記入すること。 (3) 在籍残期間は、最短(標準)修業年限で卒業・修了までの残りの期間を記入すること。
家族状況	(1) 「家族姓名」欄には、父母のほか、配偶者・子供・兄弟姉妹についても記入すること。 (2) 「勤務先または学校名」欄は、具体的に記入する。できれば役職等も記入すること。 父母死亡の場合は「死亡」と記入すること。在学中の者は学校名を記入すること。
日本滞在歴等	(1) 本国等からの仕送り及び他の奨学金受給歴は、月額で記入する。 (2) 日本語能力試験合格者は該当する級(N1～N5)に○をつける。 ※旧試験(2009年以前)合格者は下記に該当 1級→N1 2級→N2 3級→N4 4級→N5 (3) 日本語学習歴は初めて日本語を勉強した時から現在までの年数を記入する。
学歴	(1) 学歴については在籍・卒業した学校名を記入すること。
推薦書	(1) 推薦書は2020年4月以降在籍(予定)校の校長、学部長、指導教官／職員が記入する。 (2) 日本語で記入の上署名捺印が必要。 外国語の場合は日本語訳に捺印したものを添付する。
日本留学の目的・将来希望する進路	(1) それぞれ200字以内で、応募者本人が記入すること。

2020年度奨学生申請書 ①

記入日 (年 月 日)

写真 (5×4cm) 上半身近影 ※裏面に学校名・姓名を記入の上貼付のこと	フリガナ			
	姓 名	※在籍学校が発行する証明書記載通りの姓名を記入してください。		
	英文名			
	国 籍			
	生年月日	西暦	年	月 日生 (満 才)
	性 別	男 ・ 女	結 婚	未婚・既婚
現住所	〒 — TEL — —			

在 籍 校 ※ 2020年4月1日時点の在籍(予定)校及び学年数

名 称 (学校名・所属先)	※学校名および研究科名、専攻、所属学部、学科、コース名などは証明書通りの正式名称を記入してください。		
	(2020年4月1日時点の学年: 年)		
入 学	年 月 入学	2020年4月1日からの在籍残期間	年

家 族 状 況 (自国) ※本人除く

家族姓名	続柄	年齢	現住所	勤務先または学校名
	父			
	母			

日 本 滞 在 歴 等

日本滞在歴	年 月	
本国等からの仕送り	有 ・ 無	月額: 万円
※現在の奨学金受給状況	有 ・ 無	月額: 万円 (受給期間: 年 月 ~ 年 月)
日本語能力試験	有 (N1 N2 N3 N4 N5) ・ 無 (日本語学習歴 年 月)	
住 居 費	月 万円	住居区分 (寮・下宿アパート・借家・持ち家・その他)

※一般財団法人共立国際交流奨学財団奨学金は併給不可、※共立メンテナンズ奨学金は他奨学金の月額が5万円以下なら可

2020 年度奨学生申請書 ②

学 歴 (自国を含む)

学校区分	学校名 (所在地)	専攻/学科	修業年限	入学・卒業年月
高 校	()		年	入学 年 月 卒業 年 月
大 学	()		年	入学 年 月 卒業 年 月
その他 〔 〕	()		年	入学 年 月 卒業 年 月
日本語学校	()		年	入学 年 月 修了 年 月
賞 罰	()			

推 薦 書

年 月 日

一般財団法人 共立国際交流奨学財団
理事長 菊川 長徳 殿

被推薦学生氏名

推薦の理由

指導教官・職員 所 属
職 名
氏 名

印

※推薦書：2020 年 4 月以降在籍（予定）校の校長、学部長、指導教官／職員によるもの
※日本語でご記入の上署名捺印してください。

一般財団法人 共立国際交流奨学財団

2020 年度奨学生申請書 ③

姓名

(2020年4月1日時点の在籍校)

※申請する学生本人が日本語で記入すること

[illegible]

●将来希望する進路

[illegible]

夢 実現に励むアジア諸国の学生たちへ 2020年度奨学生募集



2019年度奨学生倉敷研修会にて(2018・2019年度財団奨学生)

一般財団法人 共立国際交流奨学財団 奨学金 毎月 10 万円	奨学金種別	株式会社 共立メンテナンス 奨学基金 奨学金 毎月 6 万円
2020年4月～2022年3月(2年間)	支給期間	2020年4月～2021年3月(1年間)
●	大学院	—
●	大学・短期大学	●
●	専門学校	●
—	日本語学校	●
15名	募集人数	35名

《注意》学校種別で1名のみの申請となります。奨学金種別は当財団で決定いたします。

- (1) 応募資格 アジア諸国の国籍を持つ私費留学生（該当国は当財団ホームページをご参照ください）
- (2) 応募方法 当財団奨学金対象校からの推薦応募のみとなります。
※学生個人での応募は受け付けておりません。
※2020年4月以降在籍校の推薦に限ります。
- (3) 応募締切 2020年1月31日(金)（消印有効）
- (4) 採用決定 2020年3月中旬 学校担当者へ郵送

● 選 考 委 員 ●

大塚 博
元文化服装学院 学務部長

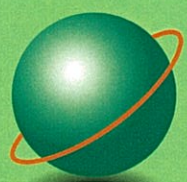
菊川 長徳
国土館大学
21世紀アジア学部 教授

北原 賢三
教育学博士 神田外語大学 客員教授
学校法人共立育英会 理事
共立日語学院 講師

山田 光矢
日本大学大学院
法学部 教授

応募書類の受取は

まで



K.I.F

一般財団法人 共立国際交流奨学財団 奨学金担当者宛
〒101-0021 東京都千代田区外神田2-18-3 第2昭和ビル4F
Email : kif-info@dormy.co.jp
詳しくは、当財団ホームページでもご覧いただけます。

共立財団

検索

URL : www.kif-org.com

－奨学金申請時の心得について－

東北大学 教育・学生支援部 留学生課 国際教育係

2019.02.01

1 申請の前に

- ・募集要項をよく読み、資格を満たしているか確認してください。応募条件や支給内容だけでなく、採用後の義務なども確認してください。（認定式や交流会などへの出席は必須、財団により定期的な課題提出などもあります）
- ・申請に必要な書類が手元にあるか、必ず確認してください。特に前課程の成績証明書の不足が多いので注意してください。
- ・他の財団に大学推薦または直接応募により申請中の場合は、結果が未定でも新たに申請することは出来ません。（ただし、双方の奨学金が併給可の場合を除きます）
- ・財団によって選考方法が異なります。面接がある場合はあらかじめ交通費、場所、日時などを確認し、必ず出席できるようにしてください。

2 申請書類について

- ・継続申請の場合も、前回の内容をそのまま流用せず、新たに願書を作成してください。
- ・消えるボールペン（フリクション）は使用せず、必ず黒のボールペンで記入してください。
（消えるボールペンで書かれた書類は財団に提出できません）
- ・選考の際、申請書類によってあなたの印象は大きく左右されます。選考者（相手方）が読みやすいよう、丁寧な記載を心がけてください。
- ・書き損じた場合は修正液（テープ）や斜線での訂正はせず、新しく書き直しましょう。
- ・学部・研究科名等は省略せず、正式名称で記入してください。
- ・記入上の注意や指定には必ず目を通し、それに従って記入してください。
- ・相手方に失礼のないよう、記入欄の7～8割を目安に記入するようにしてください。
- ・すべて書き終えたら、記入漏れなどがないか必ず確認して下さい。特に記入することがない欄も、「なし（数字なら0）」等と記入して下さい。

※エクセルデータから出力する場合、すべての文字が切れずに枠内に収まっているか確認してください。

3 その他

- ・応募条件や申請書の書き方など、分からないことがあった場合は所属部局の奨学金担当係に問い合わせてください。個人で財団へ直接問い合わせはしないこと。
- ・総長特別奨学生や授業料も支給される奨学金に採用された場合など、支給期間中の授業料免除申請が出来ない場合があります。必ずあらかじめ所属部局の奨学金担当係に確認してください。
- ・大学を通さず直接応募または継続受給の申請等を行う場合は、必ず前もってその旨を所属部局の奨学金担当係に連絡してください。

別紙

成績評価係数 計算方法

下記の計算式により小数点第二位まで算出（小数点第三位を四捨五入）した数字を成績証明書(写)に記入して下さい。

〔成績評価係数の算出方法〕（小数点第三位を四捨五入）

	成 績 評 価				
4段階評価（パターン1）		優	良	可	不可
4段階評価（パターン2）		A	B	C	F
4段階評価（パターン3）		100～80点	79～70点	69～60点	59点～
5段階評価（パターン4）	100～90点	89～80点	79～70点	69～60点	59点～
5段階評価（パターン5）	S	A	B	C	F
5段階評価（パターン6）	A	B	C	D	F
成績評価ポイント	3	3	2	1	0

〔計算式〕

$$\frac{(\text{「評価ポイント3の単位数」} \times 3) + (\text{「評価ポイント2の単位数」} \times 2) + (\text{「評価ポイント1の単位数」} \times 1) + (\text{「評価ポイント0の単位数」} \times 0)}{\text{総登録単位数}}$$

※合格の評価は加算しない。（係数値算出から除外）

*** 2019年10月以降に提出したことがある場合は提出不要です。**

2019年10月現在

身 分	学部 年、学部研究生、 MC 年、DC 年、大学院研究生		学籍番号		
学科名 専攻名		指導 教員名		研究室 TEL	
氏 名	(漢字)			既婚・未婚	
生年月日	年 月 日生 (年齢 才)		国 籍		
東 北 大 学 入学前の 在籍大学		年 月 卒業・修了			
東北大学で の移動 (新しい順 番に)	在籍身分	在籍期間			
		年 月 ～ 現在			
		年 月 ～ 年 月			
		年 月 ～ 年 月			
住 居 (○で囲む)	ユニバーシティ・ハウス青葉山 国際交流会館三条第一会館 ユニバーシティ・ハウス三条(Ⅱ・Ⅲ) 国際交流会館三条第二会館 ユニバーシティ・ハウス片平 ユニバーシティ・ハウス長町 国際交流会館東仙台会館 県・市営住宅・民間アパート (住所)				

配偶者が学生の場合、在籍学校名・所属学部研究科・学年を記入する)

[illegible]

*No need to submit if you have already submitted anytime in **October 2019 or thereafter** .
 * **2019年10月以降**に提出したことがある場合は提出不要です。

家計状況申告書

在 籍	学部 年 MC 年 、DC 年 、大学院研究生	学籍番号	
氏 名			

家計状況

* **2018年10月から2019年9月までの**あなたの家計状況について、1ヶ月を平均して記入してください。

収 入		支 出	
自己資金(預金)	円	授業料	円
仕送り	円	住居費	円
奨学金	円	生活費	円
その他()	円	その他()	円
合 計	円	合 計	円

特記事項(経済状況について特に強調したいことがあれば記入してください)

奨学金受給状況

* これまでに奨学金をもらったことがありますか? 有り・無し (○で囲む)

* 有る場合は、以下に記入してください。

もらっていた期間	月額・年額(○で囲む)	奨学金の名称
年 月 ~ 年 月	月額・年額 円	
年 月 ~ 年 月	月額・年額 円	
年 月 ~ 年 月	月額・年額 円	
年 月 ~ 年 月	月額・年額 円	

授業料免除の状況(研究生の期間を除く)

* 該当箇所を○で囲む

2019年度	後期	全額免除	半額免除	1/3免除	申請したが不許可だった
	前期	全額免除	半額免除	1/3免除	申請したが不許可だった
2018年度	後期	全額免除	半額免除	1/3免除	申請したが不許可だった
	前期	全額免除	半額免除	1/3免除	申請したが不許可だった
2017年度	後期	全額免除	半額免除	1/3免除	申請したが不許可だった